

工業簿記 部門別原価計算

パターン I 【部門別配賦表の作成（直接配賦法）・仕訳】

A工場は実際個別原価計算を採用し、製造間接費の計算は部門別計算を用いている。製造部門費の配賦基準は直接作業時間である。次の【資料】にもとづいて、下記の間答に答えなさい。

【資料】

1. 製造部門費の配賦に関する月次予算データ

配 賦 基 準	組立部門	切削部門	修繕部門	工場事務部門	材料倉庫部門	合計
従 業 員 数	60 人	50 人	15 人	5 人	10 人	140 人
修 繕 時 間	125 時間	60 時間	—	5 時間	10 時間	200 時間
材料運搬回数	150 回	75 回	25 回	—	—	250 回

2. 月次直接作業時間データ

	組立部門	切削部門
予定直接作業時間	8,000 時間	5,000 時間
実際直接作業時間	8,200 時間	4,900 時間

問 1 直接配賦法によって、答案用紙の月次予算部門別配賦表を完成させなさい。なお、【資料】から適切なデータのみを選んで使用すること。

月 次 予 算 部 門 別 配 賦 表

(単位：円)

費 目	合計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		組立部門	切削部門	修繕部門	工場事務部門	材料倉庫部門
部 門 費	5,610,000	2,390,000	1,710,000	370,000	330,000	810,000
修 繕 部 門 費						
工 場 事 務 部 門 費						
材 料 倉 庫 部 門 費						
製 造 部 門 費						

問2 問1の月次予算部門別配賦表にもとづいて、組立部門費と切削部門費の予定配賦額と実際配賦額の当月の差額を製造間接費配賦差異勘定に振り替える仕訳をなささい。なお、計算したところ、当月の組立部門費の実際配賦率は1時間当たり415円、切削部門費の実際配賦率は1時間当たり470円であった。

(仕 訳)

--	--	--	--